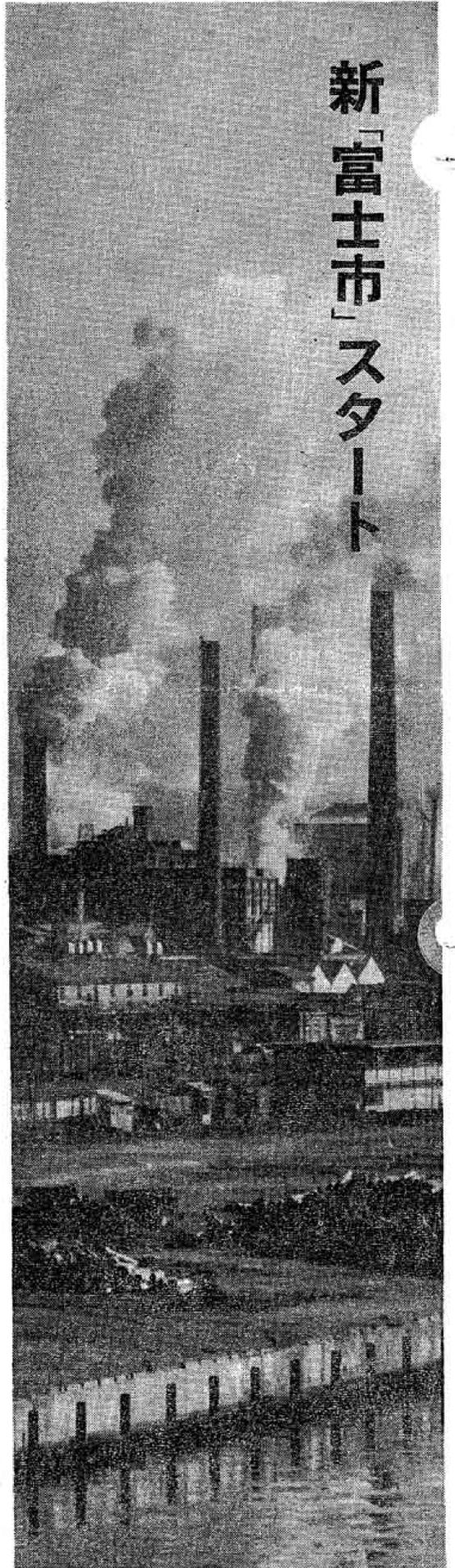


「田園・工業都市めざして」

新「富士市」スタート



☆ 新富士市は、十一月一日にスタートしてからの和々を基調に、行財政力を結集
 ☆ して、前向きに諸事業を進めています。新市建設の基本構想は「富士市総合開発計
 ☆ 画書」に描かれているように、経済開発と社会開発を中心に、効率的な地域開発を
 ☆ 進め、住民福祉の向上をはかることを目的としています。それでは、総合開発計画
 ☆ 書に盛り込まれた「大富士市」建設の基本方針をみてみましょう。

富士市総合開発計画

バイパスや愛鷹山の 観光開発を推進

まず経済開発では、田子の浦港の整備、道路網の整備、工業用地の造成、工業用水の確保など工業立地条件の整備がはかられます。

田子の浦港は、昭和三十三年から築港がはじられ、三十六年には一部使用を開始、四十年には取り扱いは貨物量も一〇〇万トンを超え、本年四月には国際貿易港の指定を受けるなど、四年の完成がもたれます。なお、完成時には泊地面積四万五千方、一万トン三バース、五千トン八バース、三千トン一〇バースで、取り扱い貨物量も二五〇万トンを超える規模になります。

道路網の整備は、現在の幹線道路は東西経済圏を結ぶ国道一号线を中心に国道一三九号線(吉原大月線)浮島三島吉原線(根方街道)田子の浦富士線(鷹岡富士線)などが放射線状にのびていますが、いずれも飽和状態となつていきます。とくに国道一号线の交通量は年々ふえるばかりで、日本の大動脈は完全にマヒ状態です。この対策として東名高速道路、富士バイパス(依田橋—

由比町)沼津バイパス(依田橋—沼津市)の早期建設を建設省、日本道路公団に呼びかける一方、南北の連絡幹線道路の整備を進めます。主要路線の舗装は昭和五十年までに完了します。

工業用地の造成は、産業公害を未然に防ぎ、市街地、住宅地との混在をさけるため、臨海性企業は田子の浦港の背後に工業団地を、重化学工業に開連した用地には新幹線以南の富士川左岸から浮島を中心とした二七二ヘクタールの用地があらわれます。昭和五十年には工業出荷額三二六億円を見込み紙・パルプ製造業を中心に重化学工業部門の業種によつて産業の高度化がはかられていきます。

工業の伸展にともない工業用水の需要も多くなります。昭和三十八年には一日一三万トンの需要量でしたが五十年には二四五万トンの需要量が見込まれます。このため、すでに供用のはじめられている富士川工業用水道の整備をはかる一方、工業、農業、上水共用の東駿河湾工業用水道の早期建設

を行なつていきます。社会開発としては、住宅の増設、文教施設の整備、福祉施設の整備、衛生施設の整備、レクリエーション施設の整備などが実施されます。

住宅は、第二次産業の発展とともに動労世帯の増加が予想されますので、昭和五十年までに公営、公庫、公団住宅などを七〇〇戸建設します。また最近住宅地の入手が困難になつてきたため、宅地開発事業として、昭和五十年までに横沢厚原団地(収容戸数一九七〇戸)、岩本山団地(収容戸数五〇〇戸)を造成するのをはじめ、土地画整理事業を計画的に進め吉原地区に四〇〇〇戸、富士地区に一四〇〇戸、鷹岡地区に一〇五〇戸の宅地造成を行う計画です。

文教施設の整備では、まず学校施設を充実させるため、小中学校校舎の新設をはじめ、体育館、プール、給食施設などの整備を行います。このほか視覚聴覚を備えた移動文化館(走る市役所)動労青少年会館、総合運動場な

どを建設し、社会教育活動を強力に推進します。市民が健康で明るい生活を営むためになくならないレクリエーション施設の建設としては、もつとも不足しているといわれる公園の造成を中心に行なつていきます。工特計画にのせられて石坂(伝法町と石坂の間)昭和(柏原町)富士川(船場下 かりがね(松岡)の普通公園、砂山(鈴川砂山)岩本山の自然公園など八公園を一日も早く整備していきます。また、愛鷹山系のハイキングコース、山小屋、キャンプ場などを整備して、市民の憩いの場とするほか、岩本山を公園計画とともに道路を整備し白糸の滝、田貫湖などを結ぶ観光ルートにしていきます。

福祉施設については、まず児童施設として保育園、遊び場の新設、母子福祉センター、児童健康センターなどの建設を行ないます。老人施設としては老人クラブ活動を推進するため一老人憩の家」を建設します。ちえおくれの子どもが自立するために必要な、技能や生活習慣を身につけさせる施設「ふじやま学園」を大淵地区に建設します。

衛生施設は、医療施設の整備として市立富士中央病院の病棟を増設するほか、吉原地区に市立病院を新設します。上水道は現在の普及率七二%が昭和五十年には九〇%になる見込です。この対策として、富士地区の第二次拡張事業、吉原地区の水道事業を整備します。

市立病院・児童センターも建設

文教施設の整備では、まず学校施設を充実させるため、小中学校校舎の新設をはじめ、体育館、プール、給食施設などの整備を行います。このほか視覚聴覚を備えた移動文化館(走る市役所)動労青少年会館、総合運動場な

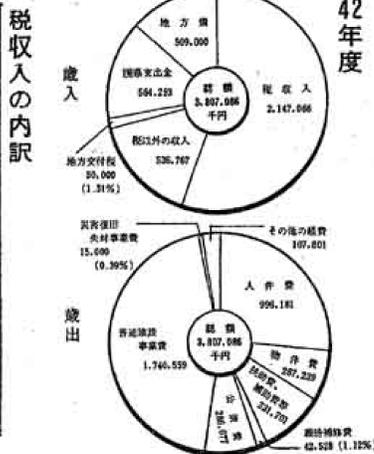
どを建設し、社会教育活動を強力に推進します。市民が健康で明るい生活を営むためになくならないレクリエーション施設の建設としては、もつとも不足しているといわれる公園の造成を中心に行なつていきます。工特計画にのせられて石坂(伝法町と石坂の間)昭和(柏原町)富士川(船場下 かりがね(松岡)の普通公園、砂山(鈴川砂山)岩本山の自然公園など八公園を一日も早く整備していきます。また、愛鷹山系のハイキングコース、山小屋、キャンプ場などを整備して、市民の憩いの場とするほか、岩本山を公園計画とともに道路を整備し白糸の滝、田貫湖などを結ぶ観光ルートにしていきます。

福祉施設については、まず児童施設として保育園、遊び場の新設、母子福祉センター、児童健康センターなどの建設を行ないます。老人施設としては老人クラブ活動を推進するため一老人憩の家」を建設します。ちえおくれの子どもが自立するために必要な、技能や生活習慣を身につけさせる施設「ふじやま学園」を大淵地区に建設します。

衛生施設は、医療施設の整備として市立富士中央病院の病棟を増設するほか、吉原地区に市立病院を新設します。上水道は現在の普及率七二%が昭和五十年には九〇%になる見込です。この対策として、富士地区の第二次拡張事業、吉原地区の水道事業を整備します。

区分 税目別	1人当り税額		昭和41年度 当初予算	昭和42年度 推定額
	昭和41年度 当初予算	昭和42年度 推定額		
1 普通税	11.260円	13.087円	1,796,448千円	2,088,254千円
①市民税	3.953	4.266	534,936	680,714
②固定資産税	5.240	5.594	836,091	892,566
③軽自動車税	156	191	24,822	30,546
④市たばこ消費税	812	1,181	129,496	180,440
⑤電気ガス税	1,697	1,902	270,791	303,488
⑥木材取引税	2	3	282	500
2 目的税	349	369	55,653	58,809
①都市計画税	349	369	55,653	58,809
3 旧法による税	0	0	0	3
計	11.609	13.456	1,852,101	2,147,066

(注)人口は40年10月1日の国調による(人口159,572人)



新市政のお台所

新町名

郵便物を出すときは

〇〇局区内

富士市〇〇町〇〇番

富士山一郎様

二市一町が合併したので、吉原、富士、鷹岡地区には同じ町名、似た町名ができました。こうした町名は住居表示制度を実施して、整理することになっていきますが「郵便物が遅れてきた」「通知が間違ってきた」などの混乱を防ぐため、新しい住居表示ができるまで、次のように取り扱うことになりました。

◇吉原、富士、鷹岡に同じ町名のある本町、仲町などについては、富士市の次に旧町名をつけます。

◇吉原のつく町名はつきのとおりです。

◇本町は吉原本町、緑ヶ丘は吉原緑ヶ丘、上中町は吉原上中町、仲町は吉原仲町、中島町は吉原中島町、富士本町（ふじもとちよう）は吉原富士本町、富士のつく町名はつきのとおりです。

◇本町は富士本町、緑ヶ丘は富士緑ヶ丘、上中は富士上中、中町は富士中町、中島は富士中島、鷹岡のつく町名はつきのとおりです。

◇その他の町名（吉原、富士、鷹岡に同じ町名がない場合）は、富士市の次に現在の町名をつけます。

例えは……

・吉原地区の東本通りは富士市東本通り

・吉原地区の日吉町は富士市日吉町

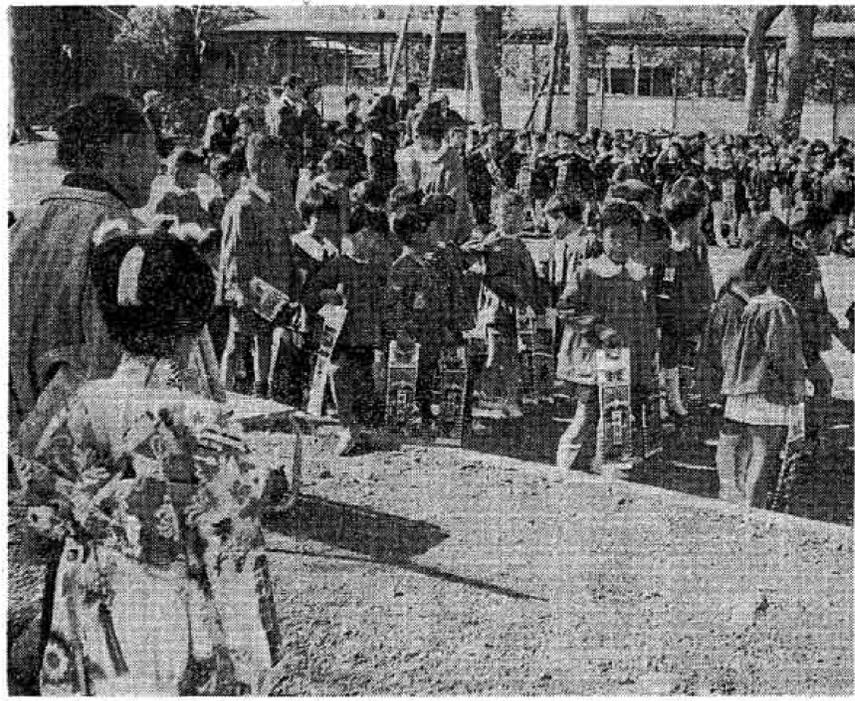
・富士地区の高島は富士市高島

・富士地区の上横割は富士市上横割

・鷹岡地区の厚原東は富士市厚原東

・鷹岡地区の久沢西は富士市久沢西

◇郵便物を差し出すときは、必ず「局区内」を書いてください。局区内をかかないと、郵便物は必ず富士郵便局へ集まりますので配達が遅くなりま



十一月十五日におこなわれた富士地区の集団祝い米之宮神社で

七才児の祝い

吉原は12月5日に

七才児になったこと、もの成長をお祝いし、将来の健康と幸福を祈りしよと、ことし七才児の集団祝い米之宮神社で行なわれ、各地区で行なわれ、ことし満七才になった

吉原地区の集団祝いは、去る十一月十五日に、米之宮浅間神社、水戸島八幡神社など四会場で行なわれ、吉原地区一宮町天満宮（十一時）伝

た子どもは、富士地区では一〇二七人（男五〇八人、女五二九人）吉原地区では一五二一人（男七五一人、女七七一）です。

法地区―三日市浅間神社（九時三十分）今泉第一―今泉小学校講堂（九時）今泉第二―今泉浅間神社 十時三十分 元吉原地区―元吉原小学校講堂（十時）吉水第一―吉水第一小学校講堂（十一時）吉水第二―吉水第二小学校 十時三十分 須津地区―中里公会堂（十時）原田地区―原田小学校講堂（九時）大洲地区―大洲第一小学校講堂（十一時）浮島地区―東小学校（九時）

建築確認申請は吉原分館で

建築確認申請の受け付け窓口が、十一月二十日から吉原分館建築課（旧吉原市役所）だけになりました。

これは、家を新築するにあたっては確認申請のほか、消防本部（旧吉原教育委員会）へ「建築物同意にかかわる調査書」を提出し、水道部（吉原分館）に上水道新設の手続きをしなければなりません。こうした取り扱いは一カ所で行なうようにしたものです。

なお、建築関係の手数料証紙の取り扱いも吉原分館建築課で行なうことになりました。

初めの農業祭

12月15・17日

吉原市民会館

福祉事務所では、身体障害者の無料巡回相談を次のように行ないます。

◇とき―十二月十三日午前十時から午後二時まで

◇ところ―吉原市民会館

◇相談を受けられるひと

- ・身体各部に継続した障害のあるひと（内科は除きます）
- ・身体障害者手帳の交付を希望するひと
- ・補装具の相談のあるひと

・身体に障害があるため生活、就職などでお困りのひと

無料相談

12月13日

吉原市民会館

福祉事務所では、身体障害者の無料巡回相談を次のように行ないます。

◇とき―十二月十三日午前十時から午後二時まで

◇ところ―吉原市民会館

◇相談を受けられるひと

- ・身体各部に継続した障害のあるひと（内科は除きます）
- ・身体障害者手帳の交付を希望するひと
- ・補装具の相談のあるひと

・身体に障害があるため生活、就職などでお困りのひと

おしらせ

無料人権相談所開く

12月8日（鷹岡）7日（富士）9日（吉原）

静岡地方方法務局吉原支局と吉原人権擁護委員協議会は「無料人権相談所」を次のように開設しました。地主や家主に不当なたのきを要求されたり、交通事故で損害をうけたり、奇付を強要されるなど、人権問題で相談ごとをおもちの方は気軽に御相談ください。

▽十二月六日、鷹岡分館会議室

▽十二月七日、富士市民会館

▽十二月九日、吉原市民会館

▽時間は、いずれも午前十時から午後三時まで

質流れ品売ります

12月8日

市福祉事務所では、富士市公益質屋の流質物の公売を次のとおり行ないます。

◇日時 十二月八日 午前九時三十分から

◇場所 吉原市民会館 一階ロビー

危険!

新幹線近くの 凧あげ

正月がちかくなると、子どもたちが凧あげを

で料金が異なっているのを見て、新幹線の近くでは好ましくないので、新しく「富士市条例」を制定し、統一したものにしてください。新幹線には、いつも三万ボルトの高圧電流が流れているので、タコが架線にかかると非常に危険です。なお、タコが架線にかかっているのを見かけた方は、国鉄三島電気支所（三島市大宮町電 75）五三七七）へ連絡してください。

6万円に有利になる国民年金

みなさんの生活を守り、また、福祉年金の所得制限は二二〇〇〇円から二四〇〇〇円に引き上げられることになりました。

この改正では、年金額の引き上げにより、障害年金、老齢年金、母子年金、準母年金は二四〇〇〇円が六〇〇〇円に、遺児年金は二〇〇〇円が二二〇〇円に引き上げられ、三十五才未満は月二〇〇円、三十五才以上は月二五〇円となります。すでに保険料を完納したひとには差額を納めていただきます。

なお、旧富士市は十二月分から保険料の納入方法が納付書による納入にかわり、国民年金手帳は検認するため市役所で保管することになります。旧鷹岡町も昭和四十二年四月分から、保険料は納付書による取り扱いになります。

※年金の事務の取り扱いはこれまでどおり、吉原富士、鷹岡分館（旧役所）で取り扱います。

編集だより

〇：みなさんと市政を結ぶ「広報ふじ」創刊号をお届けしましたが、ご覧いただけただでしょうか。

〇：広報ふじは嘱託員、区長さんを通じ、隣組長さんから富士市内の全部の家庭へお届けしています。

〇：広報ふじは来年三月までは毎月一回（二月は五日一日一回）発行することになっています。編集は市長公室秘書課広報係（電話吉原〇六一一）が担当します。